

メディカルVRシステム「空力車」 【空力車（バーチャルツアー）でつながって 市川の健康寿命をのばそう！プロジェクト】



実験概要

本実験は、VRを活用したバーチャル旅行サービスにより、外出が困難な被験者のQOL（生活の質）の向上を図ることを目的としています。

実験内容

利用者にはまず、健康状態のヒアリング、VR酔い対策、及びQOLに関する質問票の記入をしてもらいます。

次にVRゴーグルとヘッドフォンを装着してもらうことで現地にいる空力車オペレーターと繋がり、カメラから映し出される景色を見ながら、オペレーターからの現地ナビゲーションを聴くことで、リアルな旅行体験を楽しむことができます。実施後は、QOLに関する質問票に記入してもらい、スタッフからヒアリングを受けます。空力車を再度体験したい利用者がいれば再び実証試験を実施し、その前後でのQOL評価と複数回体験することでのQOLの変化を検証します。

実施スケジュール

2019年 9月上旬： 実施計画の決定、協力会員（NTT東日本）の探索と交渉

10月： 実証実験場所の選定

11月： バーチャルツアー体験会の実施

12月： 個別バーチャルツアーの実証実験場所の選定

2020年 2月： 市内福祉施設入居者に対する個別バーチャルツアーの実施

実験結果

体験者10名(平均68歳)の体験と個別実証2名にて実験を実施しました。個別実証に関しては十分な対象者数が得られなかったため、相関的なQOL向上に対する有効なデータの取得には至りませんでした。

実験前後でリラクセーション効果の判定、疲労感等の気分変化の測定を実施した結果、参加対象者の数値は上向きになっていたものの、メイン実験である個別実証の対象が1家族に止まったことにより、相関的な評価を得ることが出来ませんでした。

本実証実験の成果と意義

本実証実験においてシステムの不具合、堅牢性、およびライブオペレーターによるガイドの機器の性能確認、障がい者による機器運用方法等は全てチェック可能であったため、多くの問題点を洗い出すことが出来ました。これについては十分成果を得ることが出来たと考えています。

今後の展望

本実証において洗い出された機器の不具合や問題点に関しては全て改善し、次の実証試験に臨むことが求められますが、これは将来的展望である障がい者雇用や精神疾患への対応への大きな視座になると考えています。